

中国四国教育学会

第56回大会プログラム

<目次>

大会参加要領	1
大会日程	2
会場案内図および交通のご案内	3
鳴門教育大学建物配置図	4
鳴門教育大学発表会場等配置図	5
自由研究発表（第1日）	7
公開シンポジウム	23
自由研究発表（第2日）	24

日時 2004年 11月27日(土)・28日(日)

会場 鳴 門 教 育 大 学

大会参加要領

1. 会場案内

- ・3頁以降に、会場案内図及び交通のご案内、鳴門教育大学建物配置図、発表会場等配置図を掲載しております。

2. 受付

- ・大会第1日(11月27日)、第2日(11月28日)とも、9:00より行います。
- ・受付場所：講義棟玄関フロア
- ・大会参加費：正会員 2,000円 学生会員・臨時会員 1,000円
- ・懇親会参加費：3,000円(学生会員 2,000円)
- 会場：大学会館食堂

3. 『教育学研究紀要』(CD-ROM版)掲載申込・掲載費前納について

- ・『教育学研究紀要』(CD-ROM版)の掲載申込は、紀要掲載費の前納をもって受理することとなっております。執筆予定の方は、本プログラム発送時に同封された払込用紙によって2004年10月29日(金)までに必ず納入してください。大会当日の受付は行いませんので、ご注意ください。

4. 掲載原稿提出締切について

- ・『教育学研究紀要』(CD-ROM版)に掲載する原稿は、未発表のもので、今大会で発表したものに限ります。『教育学研究ジャーナル』との二重投稿は認められません。
- ・投稿締切は、2004年12月17日(金)午後5時必着とします。
- ・『教育学研究紀要』(CD-ROM版)の抜き刷り代金は、前納となっております。抜き刷りをご希望の方は、同封の抜き刷り注文書をご覧ください。

5. 発表要領

- ・自由研究発表 個人研究 発表：15分 質疑：5分
共同研究 発表：30分 質疑：10分
(ただし、発表者が1名の場合は、個人研究に準じます。)
- ・総括討議 各部会で、最後に20分程度行います。発表者は必ず参加してください。
- ・本プログラムに記載されている司会者の氏名は五十音順です。
- ・自由研究発表における共同研究者の氏名は「発表申込用紙」に記入された順序によります。また、○印は口頭発表者です。
- ・発表者は、レジュメを40部以上ご用意いただき当日ご持参ください。万一不足しても、大会本部ではコピー等いたしかねますのでご了承ください。
- ・発表取消があった時間帯は、ミニ総括もしくは休憩時間に充てられますのでご了承ください。

6. その他

- ・このプログラムは大会当日必ずご持参ください。
- ・大会初日については、学内の大学会館食堂が営業いたします。ご利用ください。

7. 連絡先

・大会準備委員会

〒772-8502 徳島県鳴門市鳴門町高島字中島748番地 鳴門教育大学

準備委員長：佐竹 勝利 TEL (088) 687-6259 (satakek@naruto-u.ac.jp)

副委員長：安藤 幸、坂本 和丈

委員

庶務：安藤 幸 (コンベンションビューロー：687-6511)、世羅 博昭

会計：梶井 一暁 (687-6241)

受付：村井万里子 (687-6339)

会場・交通：乾 信之 (687-6517)、山森 直人、草原 和博、石村 雅雄

シンポジウム：木内 陽一 (687-6246)、余郷 裕次、鳥井 葉子

懇親会：坂本 和丈 (687-6647)

・学会事務局

〒739-8524 東広島市鏡山1-1-1 広島大学大学院教育学研究科 教育学講座内

TEL (082) 424-6744 [庶務/会計：高木]

TEL (082) 424-6732 [プログラム/『教育学研究紀要』(CD-ROM版)：大関]

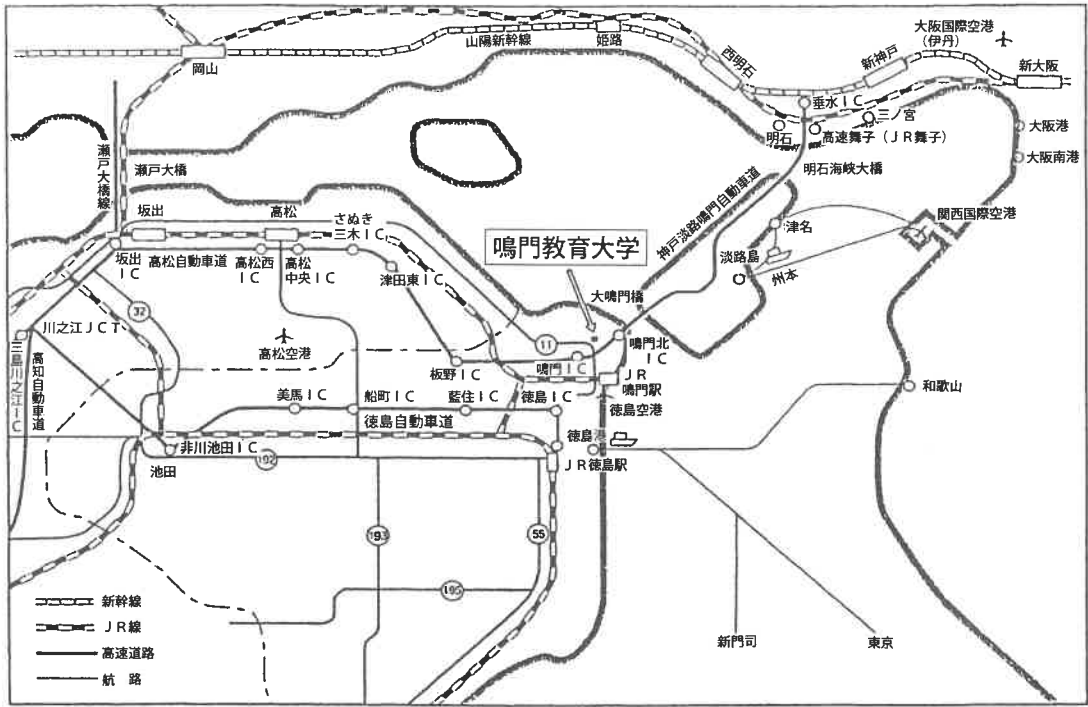
TEL (082) 424-6747 [『教育学研究ジャーナル』：志々田]

*発表の取消は、速やかに学会事務局までご連絡ください。

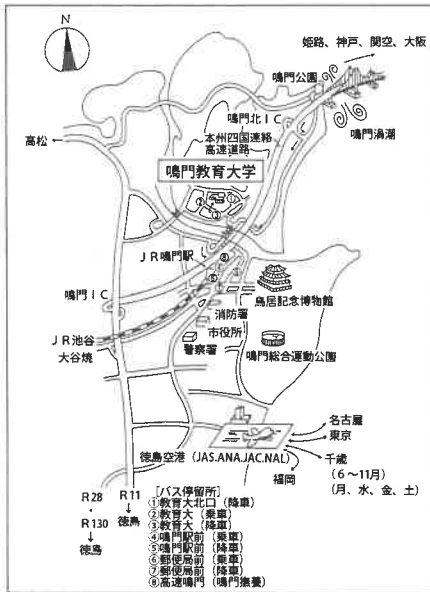
大会日程

11月27日 (土)		11月28日 (日)	
9:00	受付	9:00	受付
9:30	自由研究発表	p. 9:30	自由研究発表
	「教育思想・哲学Ⅰ」部会	7	「教育思想・哲学Ⅱ」部会
	「日本・東洋教育史Ⅰ」部会	8	「日本・東洋教育史Ⅱ」部会
	「教育方法」部会	9	「ジェンダーと教育」部会
	「高等教育」部会	10	「生徒指導・特別活動」部会
	「教育行財政」部会	11	「比較国際教育Ⅱ」部会
	「比較国際教育Ⅰ」部会	12	「学校経営Ⅱ」部会
	「教師教育」部会	13	「幼児教育Ⅱ」部会
	「学校経営Ⅰ」部会	14	「国語教育Ⅲ」部会
	「幼児教育Ⅰ」部会	15	「国語教育Ⅳ」部会
	「国語教育Ⅰ」部会	16	「社会科教育Ⅱ」部会
	「国語教育Ⅱ」部会	17	「英語教育Ⅱ」部会
	「社会科教育Ⅰ」部会	18	「数学教育」部会
	「英語教育Ⅰ」部会	19	「音楽教育Ⅱ」部会
	「音楽教育Ⅰ」部会	20	「家庭科教育」部会
	「体育教育Ⅰ」部会	21	「体育教育Ⅱ」部会
	「日本語教育」部会	22	
～12:40		～12:40	
13:40	総会 (B101)		
～14:20			
	公開シンポジウム (B101)		
14:30	テーマ： 「教師教育を問うー実践的指導力を養うためにー」	23	
～17:00			
17:30	懇親会 (大学会館)		
～19:30			

会場案内図および交通のご案内



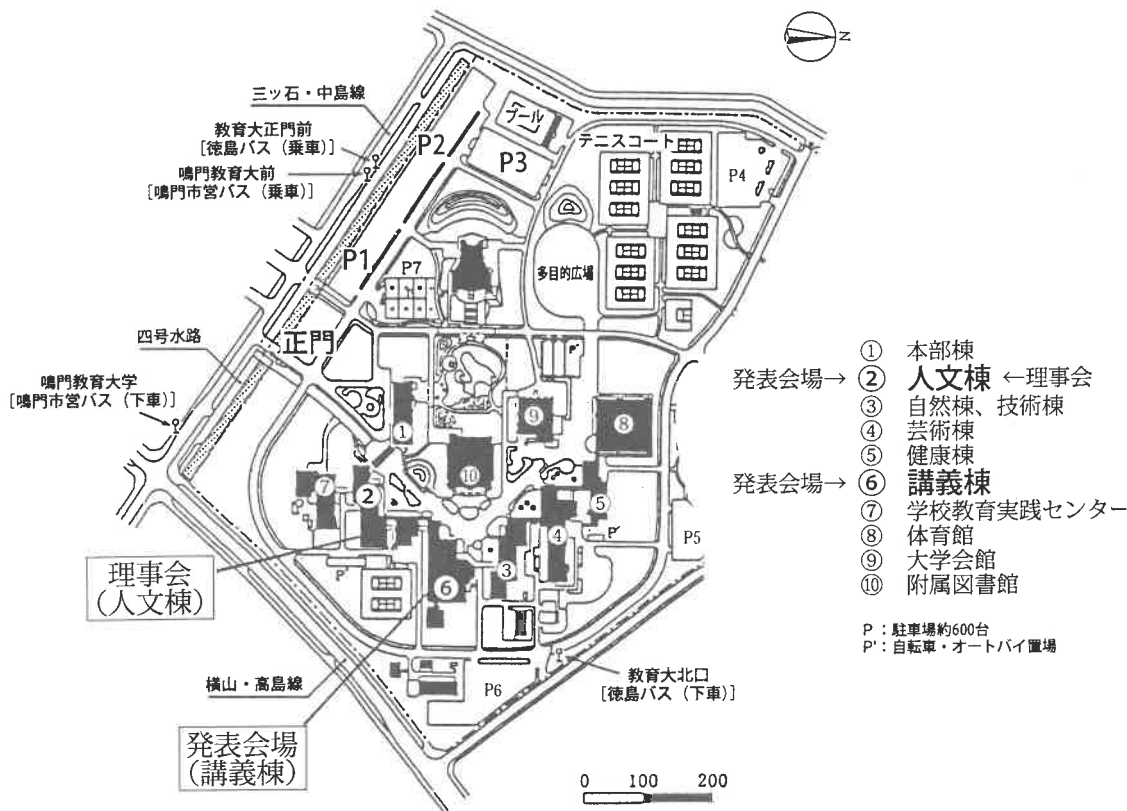
鳴門教育大学キャンパス付近図



交通機関

	徳島バス「鳴門行き乗車」	バス・タクシー
〈東京・名古屋・福岡方面から〉 徳島空港利用	徳島空港口 --- 徳島駅 --- 鳴門駅 --- 鳴門教育大学 (15分)	鳴門駅 --- 鳴門教育大学 (10分)
〈神戸・大阪方面から〉 明石海峡大橋經由「徳島行き」高速バス利用	徳島バス「徳島行き」乗車 高速バス「徳島行き」乗車 難波 --- 梅田(坂急三番街) --- 高速鳴門 --- 鳴門駅前 --- 鳴門教育大学 (30分) (2時間20分) (5分)	鳴門駅前 --- 鳴門教育大学 徒歩 バス・タクシー 小鳴門橋 --- 鳴門教育大学 (5分) (5分)
〈大阪方面から〉	高速バス「徳島行き」乗車 大阪駅 --- 鳴門(高速鳴門バス停) --- 鳴門教育大学 (2時間5分)	鳴門駅前 --- 鳴門教育大学 徒歩 バス・タクシー 小鳴門橋 --- 鳴門教育大学 (5分) (5分)
〈東京方面から〉	品川 --- 鳴門(高速鳴門バス停) --- 鳴門教育大学 (10時間40分)	鳴門駅前 --- 鳴門教育大学 徒歩 バス・タクシー 小鳴門橋 --- 鳴門教育大学 (5分) (5分)
〈高松方面から〉	高松駅 --- 池谷駅 --- 鳴門教育大学 特急(1時間) 徳島バス「鳴門教育大学行き」乗車 徳島駅 --- 鳴門教育大学 (20分) (10分)	鳴門駅前 --- 鳴門教育大学 徒歩 バス・タクシー 鳴門駅前 --- 鳴門教育大学 (10分) (10分)
〈徳島方面から〉	徳島バス「徳島駅前」発「鳴門教育大学」行き「教育大北口」下車 JR鳴門線は又は徳島バス「鳴門行き」乗車 鳴門市営バス「高島行き」乗車 徳島駅 --- 鳴門駅 --- 鳴門教育大学 (40分) (40分) (10分)	鳴門駅前 --- 鳴門教育大学 鳴門市営バス「鳴門駅前」発「高島」行き「鳴門教育大学前」下車 (10分)

鳴門教育大学建物配置図



- ・大会受付→講義棟玄関フロアー
- ・総会・シンポジウム会場→B101
- ・自由研究発表会場→人文棟1階、講義棟1、2、3階
- ・懇親会会場→大学会館食堂
- ・大会事務局→B102
- ・会員控え室→B103
- ・自動車でご入構される場合は、駐車場をご利用いただけますが、入構入り口は正門玄関だけです。正面玄関に近い駐車場は正面玄関左側のP1、2、3です。

総会のご案内

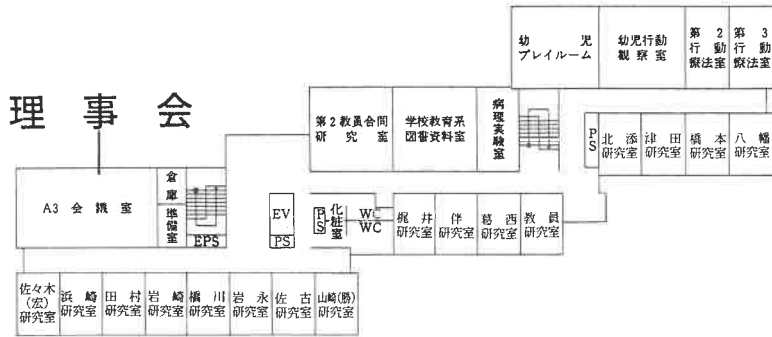
第一日目（11月27日）13：40より、B101にて総会を開催いたします。ぜひともご出席ください。

懇親会のご案内

第一日目（11月27日）17：30より、大学会館食堂にて、懇親会が開かれます。参加費は3,000円（学生会員は2,000円）となっております。相互交流の場として、多くの方々にご利用いただきたいと思います。

鳴門教育大学発表会場等配置図

人文棟 6階

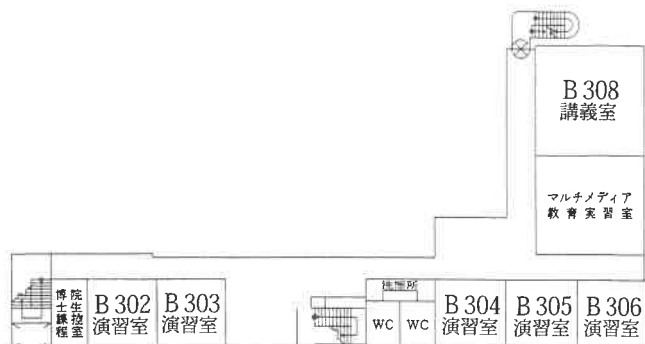


人文棟 1階

教室番号	発表部会
A 106	国語教育 I
	国語教育 IV
A 107	国語教育 II
	国語教育 III



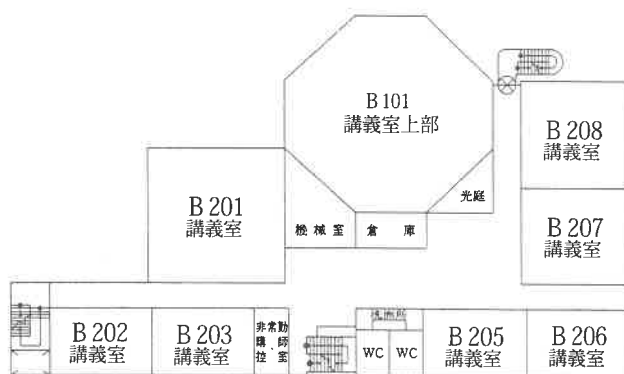
講義棟 3階



⊗: 退出扉

教室番号	発表部会
B 302	教育方法
	生徒指導・特別活動
B 303	教育行財政
B 304	教育思想・哲学Ⅰ
	教育思想・哲学Ⅱ
B 305	日本・東洋教育史Ⅰ
	日本・東洋教育史Ⅱ
B 306	学校経営Ⅰ
	学校経営Ⅱ
B 308	教師教育
	ジェンダーと教育

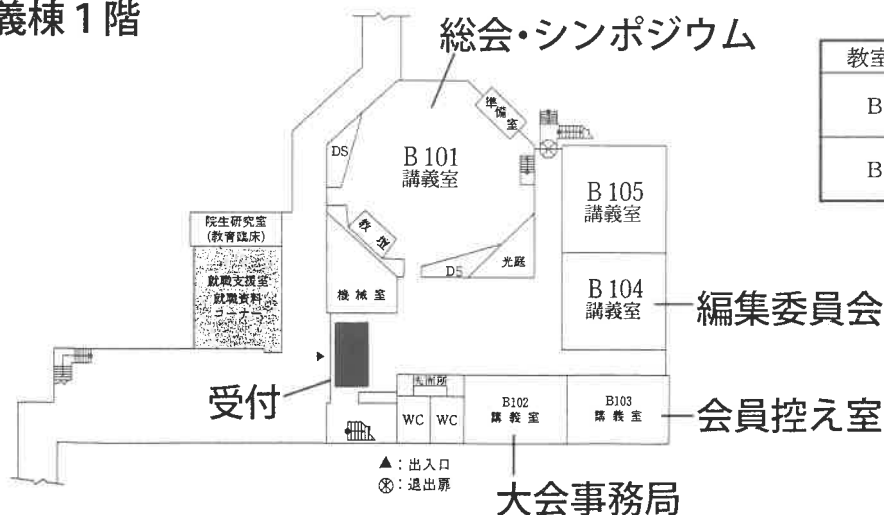
講義棟 2階



⊗: 退出扉

教室番号	発表部会
B 202	社会科教育Ⅰ
	社会科教育Ⅱ
B 203	日本語教育
	数学教育
B 205	高等教育
	家庭科教育
B 206	幼児教育Ⅰ
	幼児教育Ⅱ
B 207	比較国際教育Ⅰ
	比較国際教育Ⅱ
B 208	体育教育Ⅰ
	体育教育Ⅱ

講義棟 1階



▲: 出入口
⊗: 退出扉

教室番号	発表部会
B 104	音楽教育Ⅰ
	音楽教育Ⅱ
B 105	英語教育Ⅰ
	英語教育Ⅱ

第1日 (11月27日)

「教育思想・哲学 I」部会 (B304教室)

司会：坂越 正樹 (広島大学)

- (1) 9:30 相互主体性に基づく教育的関係に関する研究
— J. マッシュェラインを中心に— 吉田 剛
(広島大学大学院・院生)
- (2) 9:50 人間中心主義は本当に誤りか? 渋山 昌雄
(島根県立看護短期大学・非常勤)
- (3) 10:10 ピアジェの構成論に基づく道徳的な保育実践に関する一考察
— R. デブリーズらによる『道徳的なクラス』実践を中心に— 奥野佐矢子
(広島県立三次看護専門学校・非常勤)

————— <休憩 10分> —————

- (4) 10:40 アドルノの教育批判に関する一考察 白銀 夏樹 (広島文化短期大学)
- (5) 11:00 学校の社会化機能と潜在的カリキュラムの再検討
— W. Waller の『教授の社会学』を中心に— 高旗 浩志 (島根大学)
- (6) 11:20 ゲーレンの道徳論 岡谷 英明 (高知大学)

総括討議 (11:40~12:00)

第1日 (11月27日)

「日本・東洋教育史Ⅰ」部会部会 (B305教室)

司会：梶井 一暁 (鳴門教育大学)

- | | | | |
|-----|-------|----------------------|-------------------------|
| (1) | 9:30 | 農繁期休業から読み解く学校と家庭 | 土屋 有一
(鳴門教育大学大学院・院生) |
| (2) | 9:50 | 神楽における「わざ」の伝承に関する一考察 | 木戸 三恵
(鳴門教育大学大学院・院生) |
| (3) | 10:10 | 『女学雑誌』翻訳小説における新しい家族像 | 為重 慎一
(広島大学大学院・院生) |

—————<休憩 10分>—————

- | | | | |
|-----|-------|---|-----------------------------------|
| (4) | 10:40 | 福建省における CMS の学校設立
— 宣教師ウォルフの教育観を分析して — | マーティン・スティーヴン・ウォード
(広島大学大学院・院生) |
| (5) | 11:00 | 少年少女雑誌に関する読者層 | 田中 卓也
(学校法人穴吹学園穴吹国際ビジネス専門学校) |
| (6) | 11:20 | 清末の日本留学生雑誌 | 佐藤 尚子 (広島大学) |

総括討議 (11:40~12:00)

第1日(11月27日)

「教育方法」部会(B302教室)

司会:三橋謙一郎(徳島文理大学)

- | | | | |
|-----|-------|---|-----------------------|
| (1) | 9:30 | クリングベルク教授学の発展過程に関する一考察
—「教える—学ぶ」の関係性の把握を中心として— | 吉田 成章
(広島大学大学院・院生) |
| (2) | 9:50 | ドイツにおける授業改革に関する一考察
—諸教科統合的授業を中心として— | 渡邊眞依子
(広島大学大学院・院生) |
| (3) | 10:10 | 総合的な学習の時間における「福祉教育」に関する研究 | 姜 英子
(広島大学大学院・院生) |

—————<休憩 10分>—————

- | | | | |
|-----|-------|-----------------------|--|
| (4) | 10:40 | 現代ドイツのグループ授業の理論と実践の構造 | 吉田 茂孝
(広島大学大学院・院生) |
| (5) | 11:00 | S-P分析を用いたIRTの研究 | 島田 伸夫(岡山商科大学) |
| (6) | 11:20 | 授業研究による学校づくりの事例的研究 | ○深澤 広明(広島大学)
○吉田 茂孝
(広島大学大学院・院生)
○吉田 成章
(広島大学大学院・院生)
○渡邊眞依子
(広島大学大学院・院生) |

総括討議(12:00~12:20)

第1日(11月27日)

「高等教育」部会(B205教室)

司会:山崎 博敏(広島大学)

- | | | | |
|-----|-------|------------------------------|----------------------|
| (1) | 9:30 | 日本における留学生アドバイジング制度の研究 | 潘 建秀
(広島大学大学院・院生) |
| (2) | 9:50 | 中国内蒙古自治区における高等教育の発展過程に関する一考察 | 劉 国彬
(広島大学大学院・院生) |
| (3) | 10:10 | 中国における大学卒業生の就職に関する研究 | 陳 瑞娟
(広島大学大学院・院生) |

—————<休憩 10分>—————

- | | | | |
|-----|-------|--|--|
| (4) | 10:40 | 大学開放の検証(7)
—出前授業を中心として— | 大庭 茂美(九州女子大学) |
| (5) | 11:00 | 大学初年次における学外活動制度導入の試み
—英国のギャップイヤーを手がかりとして— | ○小山 悦司(倉敷芸術科学大学)
赤木 恒雄(倉敷芸術科学大学)
江村 恭子
(倉敷芸術科学大学大学院・院生)
王 曉彦
(倉敷芸術科学大学大学院・院生) |

総括討議(11:20~11:40)

第1日 (11月27日)

「教育行財政」部会 (B303教室)

司会：古賀 一博 (広島大学)

- | | | | |
|-----|-------|---|-----------------------|
| (1) | 9:30 | TIMSS データによる学力規定要因の検討
－教育生産関数によるアプローチ | 藤井 宣彰
(広島大学大学院・院生) |
| (2) | 9:50 | 地方分権と地方教育行政のリーダーシップ
－特に自治体の自主性と独自性に焦点を
あてて－ | 中田 悌夫
(広島大学大学院・院生) |
| (3) | 10:10 | 中国における学生援助制度に関する研究 | 郭 仁天
(広島大学大学院・院生) |

————— <休憩 10分> —————

- | | | | |
|-----|-------|--|-----------------------|
| (4) | 10:40 | 米国カリフォルニア州教員団体交渉法の
意義と課題
－1975年教員団体交渉法施行実態の検討
を通じて－ | 市田 敏之
(広島大学大学院・院生) |
| (5) | 11:00 | モート (Paul R. Mort) の公立学校財政理
論に関する考察 | 上寺 康司 (福岡工業大学) |

総括討議 (11:20～11:40)

第1日(11月27日)

「比較国際教育Ⅰ」部会(B207教室)

司会:川地 洋一(福山大学)

- | | | | |
|-----|-------|-----------------------------|-----------------------|
| (1) | 9:30 | ニュージーランドのナショナル・カリキュラムに関する研究 | 山地 康雄
(広島大学大学院・院生) |
| (2) | 9:50 | ベルギーの学校教育における宗教的寛容性の拡大 | 金井裕美子
(広島大学大学院・院生) |
| (3) | 10:10 | ドイツにおける通信簿の歴史(Ⅰ) | 卜部 匡司
(広島大学大学院・院生) |

—————<休憩 10分>—————

- | | | | |
|-----|-------|----------------------------|--------------------------|
| (4) | 10:40 | ドイツ・ハンブルク州における音楽科教育に関する一考察 | 伊藤 真
(広島大学大学院・院生) |
| (5) | 11:00 | E. C. リンデマンの成人教育論 | 志々田まなみ
(広島大学・非常勤) |
| (6) | 11:20 | カナダヌナブト準州における言語教育に関する研究 | 下村 智子
(日本学術振興会・特別研究員) |

総括討議(11:40~12:00)

第1日 (11月27日)

「教師教育」部会 (B308教室)

司会：諏訪 英広 (山陽学園短期大学)

- | | | | |
|-----|-------|--------------------|-----------------------|
| (1) | 9:30 | 中学校教員の養成カリキュラムの分析 | 大村 浩之
(広島大学大学院・院生) |
| (2) | 9:50 | 教師の指導力不足に関する事例的研究 | 呂 光洙
(広島大学大学院・院生) |
| (3) | 10:10 | 教育実習における学習論に関する一考察 | 別惣 淳二 (兵庫教育大学) |

————— <休憩 10分> —————

- | | | | |
|-----|-------|--|------------------------|
| (4) | 10:40 | 学校教育における子ども虐待対応システムの構築 (1) | 竹内 元 (宮崎大学) |
| (5) | 11:00 | 教師の信念 (Belief) 変容に関する事例研究 | 竹口 智之
(京都日本語教育センター) |
| (6) | 11:20 | 教師教育経営論 (4)
—教職研修における学校と大学との連携
を中心に— | 岡東 壽隆 (広島大学) |

総括討議 (11:40~12:00)

第1日(11月27日)

「学校経営Ⅰ」部会(B306教室)

司会：石村 雅雄(鳴門教育大学)

- | | | | |
|-----|-------|---|--|
| (1) | 9:30 | スクール・リーダーの中日比較
ー校長の教育的リーダーシップを中心に
してー | 金 燕
(広島大学大学院・院生) |
| (2) | 9:50 | 学校評価システムの導入による校長、教
職員の意識変化 | 李 強
(広島大学大学院・院生) |
| (3) | 10:10 | 我が国の校長のコンピテンシーモデル構
築に関する一考察 | ○曾余田浩史(広島大学)
○金川舞貴子
(広島大学大学院・院生)
○織田 泰幸
(広島大学大学院・院生) |

—————<休憩 10分>—————

- | | | | |
|-----|-------|--|------------------------------|
| (4) | 11:00 | 教職志望学生の学校経営観(2)
ー保育者に必要な力量からみた学校経営
の認識ー | 熊丸真太郎
(徳島文理大学短期大学部) |
| (5) | 11:20 | 学校教育に対する保護者の期待の変化に
関する考察
ー徳島市における1984・1994・2004年調
査の比較を通してー | ○林 孝(広島大学)
○杉田 昌子(徳島文理大学) |
| (6) | 12:00 | 学校週5日制に対する保護者の意識から
みた学校経営の課題 | 林 孝(広島大学) |

総括討議(12:20~12:40)

第1日（11月27日）

「幼児教育Ⅰ」部会（B206教室）

司会：鳥光美緒子（広島大学）

- | | | | |
|-----|-------|----------------------------------|-----------------------|
| (1) | 9:30 | 新任保育者に求められる資質に関する研究 | 上村 眞生
(広島大学大学院・院生) |
| (2) | 9:50 | 日本の幼稚園における動物飼育の現状と動物飼育に対する保育者の見方 | 鳥仁 高娃
(広島大学大学院・院生) |
| (3) | 10:10 | 統合保育における自閉症児の模倣に関する研究 | 松井 剛太
(広島大学大学院・院生) |

—————<休憩 10分>—————

- | | | | |
|-----|-------|--|--|
| (4) | 10:40 | 幼稚園教諭の Teaching Style 変容に関する予備調査 | 上田 敏丈（高知学園短期大学） |
| (5) | 11:00 | 幼児の創造的遊びを支える教師の役割—教師と幼児の相互影響関係の分析を通して— | 柏 まり（湊川短期大学） |
| (6) | 11:20 | 音楽教育における保幼小連携のための基礎的研究 | ○三村 真弓（佐賀大学）
吉富 功修（広島大学）
北野 幸子（福岡教育大学） |

総括討議（11:40～12:00）

第1日 (11月27日)

「国語教育 I」部会 (A106教室)

司会：田中 智生 (岡山大学)

- | | | | |
|-----|-------|--|-----------------------|
| (1) | 9:30 | 国語科学習における情意的領域の評価に関する研究
—学習者の自己評価を核として— | 堤 俊介
(広島大学大学院・院生) |
| (2) | 9:50 | 民間教育機関の目指す「国語力」についての考察
—公文式を中心に— | 梅原 誠
(広島大学大学院・院生) |
| (3) | 10:10 | 国語科授業における相互作用についての研究 | 宮本 浩治
(広島工業大学高等学校) |

—————<休憩 10分>—————

- | | | | |
|-----|-------|--|----------------|
| (4) | 10:40 | 古典 (古文) の授業力を自主的に伸ばさせる研修プログラムの開発 | 渡辺 春美 (沖縄国際大学) |
| (5) | 11:00 | 俳句指導に関する一考察 | 中西 淳 (愛媛大学) |
| (6) | 11:20 | 学びの履歴の記述について (2)
—土田茂範「村の1年生」の考察を通して— | 河野 順子 (熊本大学) |

総括討議 (11:40~12:00)

第1日(11月27日)

「国語教育Ⅱ」部会(A107教室)

司会：世羅 博昭(鳴門教育大学)

- | | | | |
|-----|-------|--|------------------------|
| (1) | 9:30 | 想像力をひらく小学校国語科学習活動の研究
—「想像旅行」を手がかりにして— | 峪 実幸
(大阪教育大学大学院・院生) |
| (2) | 9:50 | 「自分を認める力」を培う国語教育実践の探究
—「〈イマジネーション〉とつながる」ことを通して— | 秦 恭子
(広島大学大学院・院生) |
| (3) | 10:10 | 論理的表現力育成に関する実践的研究 | 徳本 孝治
(広島大学大学院・院生) |
| (4) | 10:30 | 話す・聞く能力を育成する国語科カリキュラム
—大村はま氏の場合— | 若木 常佳
(広島大学大学院・院生) |

—————<休憩 10分>—————

- | | | | |
|-----|-------|---|-----------------------|
| (5) | 11:00 | 「話すこと・聞くこと」教育における一教師の教育思想の検討
—大村はまの場合— | 森 美智代(鈴峯女子短期大学) |
| (6) | 11:20 | 〈読み〉についての諸問題 | 松岡 武彦
(愛媛県立北条高等学校) |
| (7) | 11:40 | 読むことの学習における「ピア・トーク」の役割 | 山元 隆春(広島大学) |

総括討議(12:00~12:20)

第1日 (11月27日)

「社会科教育 I」部会 (B202教室)

司会：梅津 正美 (鳴門教育大学)

- | | | | |
|-----|-------|---|-------------------------------------|
| (1) | 9:30 | メキシコ小学校公民教育における平和学習の授業開発 | ベラスケス・ピエドラス・セサル・イサワ
(広島大学大学院・院生) |
| (2) | 9:50 | 先鋭化した論争問題から社会構造をとらえさせる公民科授業開発 | 後藤 龍
(広島大学大学院・院生) |
| (3) | 10:10 | ニュージーランド社会科の教科書分析
ー市民的資質の育成を目指す内容構成原理ー | 須納瀬 衛
(広島大学大学院・院生) |

————— <休憩 10分> —————

- | | | | |
|-----|-------|--|-----------------------|
| (4) | 10:40 | 国民国家を相対化する市民性育成のための単元構成
ー『市民のガイド』シリーズの場合ー | 蓮尾 陽平
(広島大学大学院・院生) |
| (5) | 11:00 | 法・政治システム学習の内容構成
ー初等法関連教材「VOICE」の場合ー | 二階堂年恵
(広島大学大学院・院生) |

総括討議 (11:20~11:40)

第1日 (11月27日)

「英語教育Ⅰ」部会 (B105教室)

司会：小篠 敏明 (広島大学)

- | | | |
|-----------|---|-----------------------|
| (1) 9:30 | 小学生英語学習者の心理要因に関する研究 | 國本 和恵
(広島大学大学院・院生) |
| (2) 9:50 | 小学校英語活動に対する児童の意識調査 | 松宮奈賀子
(広島大学大学院・院生) |
| (3) 10:10 | 期待される2種類のスピーキング力に関する実証的研究
—被験者要因、情意要因、認知要因に焦点をあてて— | 吉川 正美
(広島大学大学院・院生) |

—————<休憩 10分>—————

- | | | |
|-----------|-------------------------------|-------------------------------|
| (4) 10:40 | 英語教員養成課程における英語口頭運用能力に関する尺度の開発 | 猫田 英伸
(広島大学大学院・院生) |
| (5) 11:00 | 理想的な高校英語教師について：日米高校生比較研究 | 保坂 芳男
(広島大学大学院・院生) |
| (6) 11:20 | 中学校用英語教科書の語彙分析 | ○三浦 省五 (広島大学)
前田 啓朗 (広島大学) |

総括討議 (11:40~12:00)

第1日(11月27日)

「音楽教育I」部会(B104教室)

司会：吉富 功修(広島大学)

- | | | | |
|-----|-------|--|-----------------------|
| (1) | 9:30 | 中学校音楽科における歌唱・合唱教材選択に関する研究 | 立石 裕子
(広島大学大学院・院生) |
| (2) | 9:50 | 小学校音楽科における聴唱・視唱に関する内容の歴史的検討(1)
ー学習指導要領、教科書を中心にー | 小長野隆太
(広島大学大学院・院生) |
| (3) | 10:10 | 台湾とアメリカの国定芸術カリキュラムの比較研究 | 曹 念慈
(広島大学大学院・院生) |

—————<休憩 10分>—————

- | | | | |
|-----|-------|--|-------------------------------------|
| (4) | 10:40 | 「語り」と「音楽」との結合した表現活動に関する研究
ー題材と形態の観点からー | 野村 公江(倉敷市立短期大学)
○溝手 恵理(倉敷市立短期大学) |
| (5) | 11:00 | 戦後の知的障害児教育草創期における音楽指導
ー教育内容の組織化に焦点を当ててー | 藤原 志帆(大分大学) |

総括討議(11:20~11:40)

第1日(11月27日)

「体育教育Ⅰ」部会(B208教室)

司会：松岡 重信(広島大学)

- (1) 9:30 スポーツ教育における「学習技能」に関する研究 伊藤 敦馬
(広島大学大学院・院生)
- (2) 9:50 認知的スキルの学習が状況判断能力の習得に及ぼす効果について ○川西 正行(広島文教女子大学)
田村 進(広島文教女子大学)

—————<休憩 10分>—————

- (3) 10:20 課題特性の異なる運動スキルの学習による認知的方略の比較 坂本 和丈(鳴門教育大学)
- (4) 10:40 紀南作教育の体育教師：佐々木賢太郎Ⅱ 石田 智巳(和歌山大学)

総括討議(11:20～11:40)

第1日 (11月27日)

「日本語教育」部会 (B203教室)

司会：小野由美子 (鳴門教育大学)

- | | | | |
|-----|-------|--|-----------------------|
| (1) | 9:30 | 日本語教育における Willingness to Communicate と対人感情に関する研究 | 浜脇 一菜
(広島大学大学院・院生) |
| (2) | 9:50 | 日本語のヴォイスの習得研究の動向とその課題 | 森 千枝見
(広島大学大学院・院生) |
| (3) | 10:10 | 日本語学習者による「～たいですか」「～つもりですか」の不自然な使用 | 孫 楊
(神戸学院大学大学院・院生) |
| (4) | 10:30 | 日本語学校における学習者の原因帰属 | 小林 明子
(広島大学大学院・院生) |

————— <休憩 10分> —————

- | | | | |
|-----|-------|-----------------------|------------------------|
| (5) | 11:00 | 日本語学習者の読解に関する研究 | 矢野 優子
(広島大学大学院・院生) |
| (6) | 11:20 | 日本語の「のだ」に対応する韓国語の条件表現 | 崔 眞姫
(神戸学院大学大学院・院生) |
| (7) | 11:40 | 学習者主導型による口頭発表能力育成の試み | 杉原 道子 (山口大学) |

総括討議 (12:00~12:20)

第1日(11月27日) 14:30~17:00

公開シンポジウム

教師教育を問う —実践的指導力を養うために—

提案者 高岡 信也(島根大学)
「1000時間教育実習について」
余郷 裕次(鳴門教育大学)
「『読み聞かせ』による実践力育成について」
津守 美鈴(穴吹町穴吹中学校)
「教員の資質の向上について」

司 会 栗原 昭徳(山口大学)、鳥井 葉子(鳴門教育大学)

【提案趣旨】

教育改革が進行する中で、学校の説明責任、学校評価等、教師の仕事にも関わりのある改革が矢継ぎ早に求められてきている。直接教師に向けられるものとしては、基礎基本の徹底、個に応じた指導、指導力不足教員、教員評価、あるいは危機対応など、教師の指導力に関する課題がこれまで以上に声高に語られている。もとより、教師の指導力の問題は教育の質を左右するものであり、教師教育に関わるものにとって避けて通れないことである。特に実践的指導力については1987年の中央教育審議会答申「教員の資質能力の向上方策等について」以来、各方面から共通して求められている。

教師の仕事の中心は「授業」であり、強い使命感が求められる。しかし教員をめざす学生達は卒業の段階に至っても学習指導案が満足に書けない、教壇に立つ基本的な構えも身に付いていない、等が指摘される。他方、学校現場では、子ども達や保護者の期待に応える、あるいは新任や若手をサポートできる指導力や実践力を備えていない教師がいると言われている。さらに、教師志望の学生の期待や学校現場の課題に応じるべき大学教師もそのような教育研究を提供できているかが問われている。

そこで本シンポジウムでは、まず、教育実習改革、学生の実践力育成、そして教員の研修や採用、というそれぞれの立場で各提案者に論じていただく。そして、フロアを交えた討議を通して、教師の実践的指導力を養う「実践の方策」への示唆を得たい。

後 援 徳島県教育委員会 徳島市教育委員会 鳴門市教育委員会 徳島県教育会 徳島新聞社

第2日（11月28日）

「教育思想・哲学Ⅱ」（B304教室）

司会：山下 泰子（徳島大学）

- | | | | |
|-----|-------|------------------------------|----------------------------|
| (1) | 9:30 | ヴェーニガーの軍隊教育学に関する考察 | 田中 崇教
(広島大学大学院・院生) |
| (2) | 9:50 | テオドール・リットの文化教育学 | 古賀 直樹
(呉市医師会看護専門学校・非常勤) |
| (3) | 10:10 | 19世紀後半におけるヘルバルト主義者と
青少年問題 | 高谷亜由子
(広島大学大学院・研究生) |

—————<休憩 10分>—————

- | | | | |
|-----|-------|--|--------------|
| (4) | 10:40 | ナチズムとH. ノール教育学 (4) | 坂越 正樹 (広島大学) |
| (5) | 11:00 | 18世紀末から19世紀にかけてのドイツに
おける教育方法学の構想に関する一考察 | 中野 和光 (広島大学) |

総括討議 (11:20～11:40)

第2日(11月28日)

「日本・東洋教育史Ⅱ」部会 (B305教室)

司会：大林 正昭 (広島大学)

- (1) 9:30 明治三十年代帝国教育会における研究活動の展開 白石 崇人
(広島大学大学院・院生)
- (2) 9:50 高等工業学校における学科の新設・廃止に関する考察 酒井 真
(広島大学大学院・院生)

—————<休憩 10分>—————

- (3) 10:20 吉田松陰の武家政権観について 川口 雅昭 (人間環境大学)
- (4) 10:40 吉田佐次郎と徳島県立工業学校
—産業教育地域実態史研究第6報— 三好 信浩 (比治山大学)

総括討議 (11:00~11:20)

第2日 (11月28日)

「ジェンダーと教育」部会 (B308教室)

司会：作田 良三 (四国学院大学)

- | | | | |
|-----|-------|--|---------------------------|
| (1) | 9:30 | 社会科教育とジェンダー
—Jane Bernard-Powers の示唆するもの— | 須貝 遊
(広島大学大学院・院生) |
| (2) | 9:50 | 成人の学習と意識変容
—「ひろしま女性大学」受講生の分析を中心— | 東 由水枝
(ラーニングネットひろしま) |
| (3) | 10:10 | ハラスメントのレトリック
—セクシュアル・アカデミック・アル
コール・ハラスメント— | 河野 正夫
(パブリック・コミュニケーター) |

総括討議 (10:30~10:50)

第2日(11月28日)

「生徒指導・特別活動」部会 (B302教室)

司会：高旗 浩志 (島根大学)

- (1) 9:30 スクールソーシャルワークに関する研究 山田 昌代
(広島大学大学院・院生)
- (2) 9:50 中国における特別活動の歴史の変遷 豊 微
(広島大学大学院・院生)
- (3) 10:10 部活動経験による大学生生活の違い 長谷川祐介
(広島大学大学院・院生)

—————<休憩 10分>—————

- (4) 10:40 小学校における「縦割り班」活動と指導上の課題 毛利 猛 (香川大学)
- (5) 11:00 出席停止に関する教育的葛藤分析 八並 光俊 (兵庫教育大学)

総括討議 (11:20～11:40)

第2日(11月28日)

「比較国際教育Ⅱ」部会 (B207教室)

司会：藤井 泰 (松山大学)

- | | | | |
|-----|-------|----------------------------------|-----------------------|
| (1) | 9:30 | カンボジアにおける初等教育政策に関する一考察 | 野邊 節
(広島大学大学院・院生) |
| (2) | 9:50 | 障害者リハビリテーションとその教育に関する日本の国際貢献の可能性 | 中島 裕子
(広島大学大学院・院生) |
| (3) | 10:10 | タイ初等教員の職業社会学的研究 | 牧 貴愛
(広島大学大学院・院生) |

————— <休憩 10分> —————

- | | | | |
|-----|-------|--------------------------------------|-----------------------|
| (4) | 10:40 | 中国の「民工子弟学校」に関する研究
—公立学校との比較の観点から— | 植村 広美
(広島大学大学院・院生) |
| (5) | 11:00 | ベトナムの中等教育における道德教育 | 出口 真弓
(広島大学大学院・院生) |
| (6) | 11:20 | インドネシアにおける「学校を基盤とする質の向上のための経営」に関する研究 | 中矢 礼美 (広島大学) |

総括討議 (11:40~12:00)

第2日(11月28日)

「学校経営Ⅱ」部会(B306教室)

司会:熊丸真太郎(徳島文理大学短期大学部)

- | | | | |
|-----|-------|--|---|
| (1) | 9:30 | 子どもが心をひらける学級づくりの研究 | 桑原 節子
(広島文教女子大学大学院・院生) |
| (2) | 9:50 | 学級における教師の教育行為
ーペダゴジカル・ストラテジーに着目し
てー | 水野 考
(広島大学大学院・院生) |
| (3) | 10:10 | 特別支援教育コーディネーターの連絡・
調整に関する事例分析 | 森本 真紀
(鳴門教育大学大学院・院生) |
| (4) | 10:30 | IBL教授・学習方法(Inquiry Based
Learning)の導入に関する研究 | ○江村 恭子
(倉敷芸術科学大学大学院・院生)
小山 悦司(倉敷芸術科学大学) |

—————<休憩 10分>—————

- | | | | |
|-----|-------|--------------------|---------------------------------|
| (5) | 11:00 | 少人数学級の有効性と課題Ⅱ | 西岡 一郎(徳島市立城東小学校) |
| (6) | 11:20 | 幼児の読書環境のあり方に関する一考察 | 矢野 光恵
(広島県立保健福祉大学・非常勤) |
| (7) | 11:40 | 学校ナビによる学校の情報デザイン | ○曾余田順子(福山大学・非常勤)
曾余田浩史(広島大学) |

総括討議(12:00~12:20)

第2日 (11月28日)

「幼児教育Ⅱ」部会 (B206教室)

司会：北野 幸子 (福岡教育大学)

- | | | | |
|-----|-------|---|-----------------------|
| (1) | 9:30 | 媒体を通じて存在する認識
—ワーチによるヴィゴツキー理論の再考
から— | 岡花祈一郎
(広島大学大学院・院生) |
| (2) | 9:50 | 芸術教育の認識的アプローチに関する研
究 | 中西さやか
(広島大学大学院・院生) |
| (3) | 10:10 | アンチバイアス・カリキュラムの理論と
プログラムに関する研究 | 管田 貴子
(広島大学大学院・院生) |

————— <休憩 10分> —————

- | | | | |
|-----|-------|------------------------------------|-------------------------|
| (4) | 10:40 | (幼年童話作家村山篤子と、母、祖母)
三代に通じる子育て観 | 橋本外記子
(高知大学教育学部・研究員) |
| (5) | 11:00 | 地域に残るわらべうた—五島 岐宿町の
わらべうたをもとにして— | 松園 聡美
(中村学園大学短期大学部) |

総括討議 (11:20~11:40)

第2日(11月28日)

「国語教育Ⅲ」部会(A107教室)

司会：山元 隆春(広島大学)

- | | | | |
|-----|-------|---|------------------------|
| (1) | 9:30 | 音環境を志向する聞くことの教育の構想
—R・マリー・シェーファーの音のレッスンを手がかりに— | 上田 誠
(大阪教育大学大学院・院生) |
| (2) | 9:50 | 漢文教科書における単元概念の導入
—『新漢文』(昭和24年、秀英出版)の場合— | 富安 慎吾
(広島大学大学院・院生) |
| (3) | 10:10 | ドイツ国語教授学の今日的課題(9) | 土山 和久(大阪教育大学) |
| (4) | 10:30 | 国定教科書における「国民的童話」の教材化に関する考察 | 棚田真由美(兵庫教育大学) |

—————<休憩 10分>—————

- | | | | |
|-----|-------|--|---------------|
| (5) | 11:00 | カナダ ICS の言語教育実践と理論 | 難波 博孝(広島大学) |
| (6) | 11:20 | 戦後初期国語科検定教科書における近代的人間像の考察 | 幾田 伸司(広島経済大学) |
| (7) | 11:40 | 戦後説明的文章指導論の展開(7)
—前夜の土壌の形成をめぐって— | 植山 俊宏(京都教育大学) |
| (8) | 12:00 | 昭和二十年代の国語科カリキュラム研究
における「読むこと」領域に関する考察 | 河野 智文(兵庫教育大学) |

総括討議(12:20~12:40)

第2日(11月28日)

「国語教育Ⅳ」部会(A106教室)

司会：余郷 裕次(鳴門教育大学)

- | | | | |
|-----|-------|---|-----------------------|
| (1) | 9:30 | 読書教育の為の選書基準に関する一考察 | 前田 桂子
(広島大学大学院・院生) |
| (2) | 9:50 | 『源氏物語』論 | 村山 太郎
(広島大学大学院・院生) |
| (3) | 10:10 | 今日的状況における文学教育の可能性
—大河原忠蔵の「思想」「文学的現実認識」
をヒントに— | 長坂 哲志
(広島大学大学院・院生) |

—————<休憩 10分>—————

- | | | | |
|-----|-------|----------------------------------|-----------------------|
| (4) | 10:40 | 説話の教材化に向けての提言
—宇治拾遺物語の場合— | 川津 崇志
(広島大学大学院・院生) |
| (5) | 11:00 | 『今昔物語集』の教材としての可能性
—話題性か、行為性か— | 渡辺 心
(広島大学大学院・院生) |
| (6) | 11:20 | 和歌文学の教材論 | 吉野 樹紀(沖縄国際大学) |

総括討議(11:40~12:00)

第2日(11月28日)

「社会科教育Ⅱ」部会 (B202教室)

司会：小原 友行(広島大学)

- | | | | |
|-----|-------|--|-----------------------|
| (1) | 9:30 | 「環境問題学習」としての地理教育内容開発
—中学校地理的分野単元「よりよき未来
へ向けて」— | 大庭玄一郎
(広島大学大学院・院生) |
| (2) | 9:50 | 文化の学習(Cultural Studies)としての
社会学習原理 | 田中 伸
(広島大学大学院・院生) |
| (3) | 10:10 | 社会科教育におけるCross-Cultural-
Competency(CCC)育成の可能性 | 笹山 有香(大野町立大野中学校) |
| (4) | 10:30 | 清末学部による教材の審定
—歴史教材を中心に— | 鈴木 正弘(狭山清陵高等学校) |

—————<休憩 10分>—————

- | | | | |
|-----|-------|---|-----------------------|
| (5) | 11:00 | 中等用初期社会科教科書の分析的検討
—一般社会科教科書『日本の都市』の構
成と特質— | 立目 良
(広島大学大学院・院生) |
| (6) | 11:20 | 比較文明学習としての世界史教育
—P.N.スターンズ『世界史』を手がか
りとして— | 鶴田 輝樹
(広島大学大学院・院生) |
| (7) | 11:40 | 歴史教育課程における「可能性の隠蔽」
の構造
—米国『歴史ナショナル・スタンダード』
をてがかりとして— | 丹生 英治
(広島大学大学院・院生) |

総括討議(12:00~12:20)

第2日 (11月28日)

「英語教育Ⅱ」部会 (B105教室)

司会：三浦 省五 (広島大学)

- | | | | |
|-----|-------|--|-----------------------------|
| (1) | 9:30 | TOEICを用いたリスニングテストの問題分析
ー単語力及び文法力の観点からー | 加藤 智子
(広島市立大学大学院・院生) |
| (2) | 9:50 | テキスト構造が英語における読解に及ぼす影響
ー日本人高校生の場合ー | 浅井 智雄
(広島県立五日市高等学校) |
| (3) | 10:10 | Innovative Study in English
Communication Using Practical
Approach | アルドウィン カサス
(岡山県立岡山操山中学校) |

総括討議 (10:30~10:50)

第2日 (11月28日)

「数学教育」部会 (B203教室)

司会：小山 正孝 (広島大学)

- | | | |
|-----------|----------------------------|-----------------------|
| (1) 9:30 | 数学的リテラシーの育成に関する研究
(IV) | 阿部 好貴
(広島大学大学院・院生) |
| (2) 9:50 | 数学教育におけるメンタルモデルに関する研究 (IV) | 上谷 伸二
(広島大学大学院・院生) |
| (3) 10:10 | 状況論に基づく数学学習の研究 (V) | 今井 一仁
(広島大学大学院・院生) |

総括討議 (10:30~10:50)

第2日(11月28日)

「音楽教育Ⅱ」部会(B104教室)

司会：三村 真弓(佐賀大学)

- | | | | |
|-----|-------|--|-----------------------|
| (1) | 9:30 | アメリカ合衆国における音楽科教員免許制度に関する研究 | 楨原 仁美
(広島大学大学院・院生) |
| (2) | 9:50 | 音楽科教育における目標準拠評価の在り方 | 寺園 智美
(広島大学大学院・院生) |
| (3) | 10:10 | 広島県の痴呆性高齢者対応施設における音楽療法に対する意識調査
—自由記述式質問の回答を中心に— | 高田 艶子
(広島大学大学院・院生) |

—————<休憩 10分>—————

- | | | | |
|-----|-------|--|----------------------|
| (4) | 10:40 | 小学校音楽科の合唱指導における「二声部の歌い分け」に関する研究 | 緒方 満(広島大学附属小学校) |
| (5) | 11:00 | 歌唱指導が話し声と歌声の使い分けに及ぼす影響
—幼稚園年長児を対象として— | 水崎 誠
(北海道教育大学函館校) |
| (6) | 11:20 | 山本寿と学校文化 | 吉富 功修(広島大学) |

総括討議(11:40~12:00)

第2日 (11月28日)

「家庭科教育」部会 (B205教室)

司会：鳥井 葉子 (鳴門教育大学)

- | | | | |
|-----|-------|--|--|
| (1) | 9:30 | 献立及び調理に関する家庭科の授業実践
の考察
—子どもたちの主体的な学びをめざして— | 齊藤 良子
(鳴門教育大学大学院・院生) |
| (2) | 9:50 | 戦後日本の農村における生活改良普及員
の活動
—鹿児島県を事例にして (Ⅱ)— | 渡辺 一弘
(広島大学文書館・非常勤) |
| (3) | 10:10 | 食品の栄養的特質に関する教材の開発
—料理の栄養価との関連に注目して— | ○村上ちひろ
(岡山大学大学院・院生)
中村喜久江 (岡山大学) |

総括討議 (10:30~10:50)

第2日(11月28日)

「体育教育Ⅱ」部会(B208教室)

司会：坂本 和丈(鳴門教育大学)

- | | | |
|-----------|----------------------|--|
| (1) 9:30 | 現職教師と大学生の体育授業に関する認識差 | 岩田昌太郎
(広島大学大学院・院生) |
| (2) 9:50 | 日本における楽しい体育に関する研究 | ○郭 万里(広島大学大学院・院生)
孫 喜和(広島大学大学院・院生) |
| (3) 10:10 | 手具操作に関する研究 | ○菅尾 尚代(広島大学大学院・院生)
松岡 重信(広島大学)
齋藤 一彦
(日本学術振興会・特別研究員)
岩田昌太郎(広島大学大学院・院生)
郭 万里(広島大学大学院・院生) |

—————<休憩 10分>—————

- | | | |
|-----------|--|---|
| (4) 10:40 | 小学校2年生における鬼遊びの授業研究
—小学校低学年におけるルールの機能・
原則の学習— | ○宮本 浩嗣
(広島大学附属三原小学校)
木原成一郎(広島大学) |
| (5) 11:00 | アラブ諸国における身体教育システムの特質に関する研究 | ○齋藤 一彦
(日本学術振興会・特別研究員)
松岡 重信(広島大学)
久木留 毅(日本オリンピック委員会)
田村 進(広島文教女子大学)
菅尾 尚代(広島大学大学院・院生) |
| (6) 11:20 | 体育授業における「学習支援ソフト」の開発と評価
—表現リズム遊び「どうぶつランド」の場合— | 安藤 幸(鳴門教育大学) |

総括討議(11:40~12:00)